

JAXA の有人システム安全ミッション保証室長の小沢室長が資料 37-1(安全審査権限移譲)を 4 分程で説明した後、10 分弱の質疑応答があった。

池上委員長:ご意見、ご質問等御座いますでしょうか。……ア、どうぞ。

野本:時間の短縮と云うのは、どれ位短くなるんでしょう？

JAXA 小沢:具体的な数値は一寸あの、持ち合わせてないんですけども、此れまで NASA の安全審査パネルの場に出張して、そして、審査に当たって説明して参りました。審査パッケージも英文化をすると云う事で、文書の整理にも多少時間が掛って居りました。そう云う様な時間が短縮されるものと考えて御座います。…ア、スイマセン。あの、文書、安全を評価する文書は、元々英語で作って御座いましたので、あの、文書を作る時間の短縮にはなって御座いません。

野本:今迄は、其のフェーズ 0 から<sup>1</sup>迄、其の度毎に行って、説明をして来たって云う事になるんでしょうか？ 此の表を見ると。

JAXA 小沢:はい、此れが基本的な流れで御座いますが、審査の対象に応じまして、フェーズ 0 と を一緒に、ア、フェーズ と を一緒にするとか、 と を一緒にすると云う様な、統合した審査<sup>2</sup>を実施する事は出来ました。

野本:じゃあ、これからは、要するに準備する側が、其れだけ余計に時間が取れる様になったと云う事ですネ。其の分の時間。

JAXA 小沢:はい、仰る通りです。

井上:此れは、或る意味ではその一、「きぼう」が設置されて、HTV も動く様になって、或る種斯う定常的に此れから運用が行われて行くと云う様な事も背景に在って、此の様な事が行われたと云う様な理解で宜しいんでしょうか。

JAXA 小沢:はい、其の通りだと考えて御座います。

森尾:此れはあの、エエト、従来英語だと仰ったんだけど、これからも JAXA に出すのは英語ですか？

JAXA 小沢:はい。審査パッケージ、審査の資料は英語で作ることを基本として御座います。英語で文章を作ります。

森尾:其れは何ですか？

JAXA 小沢:スペース・ステーション・プログラムの共通言語が英語と云う事になって御座いまして、JAXA で審査する文章を、NASA の安全審査パネルに送付すると云う事は此れからも実施します。

森尾:だから、其処だけ英語でも良い様な気がする<sup>3</sup>んです。ペイロード設計する側が、元々は日本語で設計している訳だから、此れをまたまた英語で直さなくちゃいけないって云う手間を省くと云う。

<sup>1</sup> 資料 37-1 の 2 頁の左端の表記である。

<sup>2</sup> 複数のパッケージを審査する事もあったと想像出来る。

<sup>3</sup> ご指摘の様に出来ているのではないかと想像する。何れにせよ、NASA に提出するのだから、最初から英語で作るのが良いと思う。

JAXA 小沢: はい、最初から英語で作る...あの一、作って、其の儘 NASA へ持ってくと云うのが、何か 2 度手間にならなくて済むかと云う風に、あの、我々は考えて御座いました。

森尾: じゃ、其れは、JAXA は 2 度手間にならないけども、ペイロード作る側は、2 度手間になる。...つまり、JAXA の安全審査は日本語では認めないと云う事。

JAXA 小沢: エエト、審議は日本語でやって御座いまして、エー、其のやり取りは日本語で御座いまして、エー、パッケージになって居る文章が英語で記載されてると云う事で御座います。

森尾: あと、もう一つはあの一、他の国はどうですか、カナダとか ESA は、

JAXA 小沢: ヨーロッパは 3 年程前に同じ様な審査権限が移譲されたと聞いて御座います。カナダは此れ迄 NASA と一緒にやって来ましたので、独自の安全審査パネルを以て御座いません。

池上委員長: 今のネ、言葉の問題で言うと、寧ろ文書は英語の方が良い<sup>4</sup>んじゃないですか。僕も其の安全部会の部会長やって時に、日本語で良く分からなくて、英語の方が良く分かる。で、

<sup>4</sup> 此処まで言うと言い過ぎだろう。日本人は日本語で考える。其れを無理に英語にした処で、英語で表現する能力が俄かに増しはしないので、どうしても論理性に欠ける英文を書いてしまう。JAXA の審査を終了した後、NASA に一式を提出するので、初めから英文で作成すると云う点が重要なのだろう。

主語もはっきりしてますヨネ。どうですかネ、此れ。ソニーは国際化してるでしょ。取締役会も英語でやってる様な事を。

森尾: いや、やっぱり日本語で議論するのが筋だと思うんですネ。

池上委員長: ア、いや、議論は日本語でやっても良いと思うんだけど、

森尾: ドキュメントは英語なんですネ。

池上委員長: ドキュメントは英語にした方が良いんじゃないかと思えます。

森尾: JAXA の安全審査に関わる部分以外のものは、ドキュメントは英語なんですか? それとも日本語なんですか? ...まあ、一つのを設計して、安全審査の部分だけ英語で書いて、其れ以外のもの全部日本語のドキュメントなのか.....逆に言うと、其処だけ英語にするって云う事は不自然<sup>5</sup>じゃないかと云う事ですヨネ。

JAXA 小沢: はい、設計仕様書は日本語で書かれて御座います。それから設計の解、設計解になっている様な解析書等は日本語で<sup>6</sup>書かれて御座います。

池上委員長: 英語、日本語はですから中でネ、一寸あの、決めるなり何なりして下さいヨ。僕は文書は英気にした方が良いと思

<sup>5</sup> NASA に提出する必要がある文書は、最初から英語で記述すると云う JAXA の説明である。其れを「不自然」と指摘されたら答え様が無いだろう。

<sup>6</sup> 此れは、日本語で書かれているとは言え、最も大切な数式は、万国共通語であるから、翻訳するにも手間は多く掛らないだろう。

ますヨ。要するに、やっぱり日本語の、寧ろ良く分かんないですヨネ。

(誰か、マイクを通さない発言)

池上委員長:いや、日本語悪いって言うか、あの、敢えて色々は言いませんけどネ、具体的な例では、何か報告書を書く時に、寧ろ英語に直すとどうなるかって言う発想で考えてった方が、解り易い文章が出て来るんで、日本語要するに難しい。...後は貴方の立場は当然その、有人て云う立場から安全を審査してく訳ですヨネエ。で、そうすると今、あの一、暴露部を、この前の ISS の特別部会でネ、その、エンジニアリング・テスト・ベッド的な使い方もしようって云う事になると、あの一、宇宙飛行士が其れに色々タッチするって云う事が増えて来る<sup>7</sup>んじゃないかと思うんですよネエ。で、そうした場合ダイジョブですか、JAXA が。その、フランチャイズとは言うものの、やってけるかどうか。

JAXA 小沢:はい、あの一、審査の責任は NASA が、全体的な責任は NASA が依然として持ちます。エエト、審査の責任を果たす手段として、安全審査の権限を委譲されました。で、其の審査する中で、今あの委員長ご指摘になりました様に、船外

<sup>7</sup> 宇宙飛行士のレートをお考えの上で、「エンジニアリング・テスト・ベッド」を唱えていらっしゃるのか。更に宇宙飛行士の作業手順書に対して安全審査を行なう費用が発生する。とても現実性のあるアイデアだとは思えない。特別部会の総意の様に仰っていらっしゃるが、極少数意見だった事は議事録を読み返せばわかる。

活動とか、毒性の評価とか、JAXA の中では未だ、中々そう云うレベルに達してない部分も御座いまして、此れにつきましては NASA のパネルの支援を頂くと云う事は残って御座います。

矣鏡委員長:ですからあの、従来とは違った使い方、例えばあの、一つのアイデアとして、小型衛星をネ、あそこからカタパルトか何かで、打ち出そうとかネ、そう云う様な議論が特別部会の中で出て来た<sup>8</sup>んだけど、あの、其処まで考えると、矢張りかなりキチツとした議論をやらないといけないナアって云う様に思うんですヨネ。其の辺についても、JAXA の方で色々考えておいて下さいヨ。

JAXA 小沢:はい、其の様に。

池上委員長:あと、全体としてネ、此れを見ると宇宙開発委員会って云うのは一体どこに在るかっての、良く分からないですネ。で、我々から言いますとネ、あの、今迄はあの一、国がオーソライズした NASA が安全をやってると云う意味で、安心してる部分がある<sup>9</sup>んだけど、今回フランチャイズとは云え、JAXA がや

<sup>8</sup> 此れも非現実的である。たとえ実現したとしても、放出された小型衛星は ISS の軌道に近いものになる。極めて不自由な軌道である。ロケットの上部にピギーバックとして取り付け、放出した方が安いし、軌道の自由度を考えて機会を選ぶ事が出来る。

<sup>9</sup> 技術的(知識経験と審査手順)には NASA が審査すると安心出来る事は分かるが、其の有無は宇宙開発委員会の存在に何の影響も与えないと思う。

るとするとすれば、法的に言うと最終的な責任てのはネ、宇宙開発委員会安全部会に在る<sup>10</sup>訳ですヨネ。で、其れが此処に書かれて居ないって云うのは、あの一、どう云う事なんですか？ うっかり忘れた？

JAXA 小沢: いえ、あの一、此れ迄日本国として、日本が提供します要素の安全は日本国が見ると云う意味では、JAXA の審査を終わって、JAXA 内で副理事長を議長とします安全審査委員会と云うのが御座いまして、此の中で JAXA としての安全を見ました。で、其の JAXA が見た安全の成果を、結果を宇宙開発委員会で審議・討議頂きまして、そう云う流れは今後とも日本国としては変わらないので、今あの一、変更される部分のみを此の図にしましたけれども、日本としての安全を確認すると云う流れは、此れ迄と、ご報告してる通りと変わって御座いません。

池上委員長: だけど、せめてその、2 頁のネ、中にどっか宇宙開発委員会... まあ、文章では一寸書いてあるんですけどネ、だから、我々から言いますと責任が重くなる訳ですヨ。JAXA は当然責任は取れない訳だから。で、安全について何か起こった場合には、法的には矢張り宇宙開発委員会が責任を取らな

きゃいけないって云う話ですから、我々にして見ると、エー、従来よりもまあ、責任が増えたと云う意味で大変だなと云う事を、一応感じる訳ですヨネ。ですから是非その 2 頁、斯う云う絵を描く時は、宇宙開発委員会が何処に居るか位は書いておかないと、JAXA が、僕らは、ひょっとしたら勘違いしてるんじゃないかって云う風に考えちゃうから、フッフ。

JAXA 小沢: はい、修正致します。

池上委員長: 他に何か御座いますでしょうか。..... 宜しいですか？  
ア、それではあの一、そう云う事、今日議論した事を良く、あの一、もう一度咀嚼を致しまして、JAXA ン中で上手く展開<sup>11</sup>する様に... どうも有難う。... それでは 2 番目の議題に... (以下省略)

<sup>10</sup> 「法的に」言うのなら間違っていると思う。責任は文部科学大臣に在って、多少の権限移譲の下に文部科学省職員に職責が配分されていると思う。宇宙開発委員会は文部科学大臣の諮問機関であるから、権限も移譲されておらず、責任も負う事の無い立場だろう。

<sup>11</sup> 随分強い言葉で叱責したので、傍聴者である事を忘れて咀嚼した処、噛めば噛む程勘違いは違う処に在るように思えて来たので、前出のコメントになってしまった。